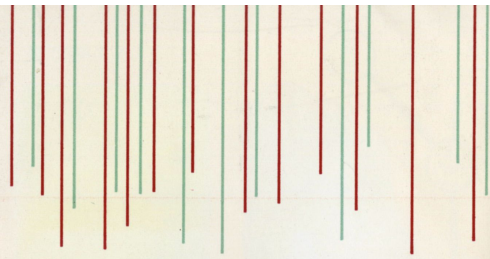






**籠坊温泉** (阪急電車池田駅よりバス・三田市よりバス)  
 およそ800年の昔、平家の落武者が発見したといわれ、全く俗界をかけたはなれた仙境の地である。四季を通じて阪神間の湯客に親しまれている。

**大野山** (阪急電車池田駅よりバス)  
 標高753m摂津第一の高峰で、頂上には行基菩薩の史蹟と大阪一金沢・鳥取を結ぶ白亜のマイクロウェーブ中継所がある。春はつつじが咲き乱れ、秋には紅葉の錦に包まれ眺望はすばらしい。



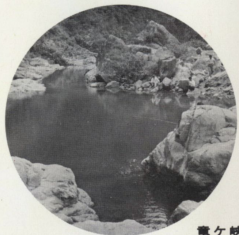
**多田神社** (能勢電車多田駅より西へ900m、阪急池田駅よりバス多田社前)  
 「関西の日光とたたえられる大社で、源氏発祥の地として大江山の鬼退治、石合戦等の物語りで知られた神社である。  
 天禄元年12月(西歴970年)法華三昧寺多田院として源満仲公が、円融天皇の勅を奉じて創立した源氏一門の祖廟で、満仲公は長徳3年8月(西歴997年)に86才で歿し、遺命によってここに葬り、奉祀して神としたのが多田神社の起りである。源姓を称する北条、足利、徳川の諸氏など、もろもろの年代に堂塔の建立、鎮守の造営、廟域の修葺、御燈油、御供料、田畑などの寄進があったが、保元の乱(西歴1156年)で焼失し、北条泰時が再建、その後文明4年(西歴1472年)、足利氏の推挙があって正一位に進められ、多田権現と号した。明治4年の太政官布告によって神仏混合が分離されたため仏舎を移管して現在に至っている。源満仲公を主神に頼光、頼信、頼義、義家の五公を奉祀し、現在の社殿、神廟は徳川四代将軍家綱公の再建したもので、源氏の宝刀「鬼切丸」備前国宗の太刀などをはじめ重要美術品など千数百点が宝物館に保存されている。神域全体は文部省の文化財保護法による史蹟指定地であるが、特に権蔵造りの本殿と拝殿、三棟造りの随神門は重要文化財の指定を受けている。



**東光寺** (阪急電車池田駅よりバス)  
 最近脚光をあびてきた木喰上人が彫った木像14体が安置されている。藤原時代のこの像は慈愛に満ちた微笑と単純で力強い線が絶賛されている。



小童寺



雷ヶ峽

**小童寺**  
 (能勢電車山下駅より徒歩1km又は阪急電車池田駅よりバスゴルフ橋下車600m)  
 源賢僧都の開基で忠孝山と称し、境内には源賢(源満仲の末子美女丸)の身代りとなり一命を捨てた藤原仲光の子「幸寿丸」と四天王の一人渡辺綱の墓がある。



**屏風岩** (阪急電車池田駅よりバス)  
 猪名川の清流に沿って高さ30米に及ぶ自然の巨岩が曲折して立ちならび、まるで屏風ながらである。



**一庫渓谷** (能勢電車山下駅よりバス又は徒歩2km)  
 霊峰妙見山に端を危した猪名川の上流である能勢川(別名一庫川)の一庫附近一帯を一庫渓谷と称し、清流が奇岩にくだける渓谷は一幅の絵巻を想わせる。  
 アユ、マスなどの川におどる銀鱈は遠くの太公望にまで親しまれている。山野には野鳥が飛びかい西唯一の昆虫の宝庫であり、川畔はキャンプ、水遊びなど家族連れの清遊に好適である。  
 渓谷の中ほどに一庫温泉がある。その昔有馬、平野とともに摂津三温のひとつとして栄えた温泉場で、今も交通の便に恵まれ都心をおとす客が絶えず、アユ・マス料理、くり・松茸めし、ぼたん鍋など風味ある季節料理が喜ばれている。

**沿革**

県立猪名川渓谷自然公園は昭和32年4月27日に指定され、猪名川に沿った川西市、猪名川町、城東町の1市2町にまたがる123.7km<sup>2</sup>からなっている。

猪名川の清流は奇岩にくだけて水しぶきをあげ、アユ、マスは銀鱈をおどらせている。春はさくら見物にハイキング、夏はキャンプに水遊び、秋はまつたけ狩り、くりひろい冬はぼたん鍋と四季それぞれ趣きがあり、阪神間からの交通の便にも恵まれて、年間を通じ行楽客が絶えない。



**妙見山** (阪急電車池田駅よりバス又は能勢電車妙見口よりバス)  
 大阪の西北約30軒北摂地方の北端に位置し海拔662米。山上の展望台からの眺めは絶景で、北摂、丹波連山、また南はるかに阪神間を始め大阪湾まで一望できる。  
 山上には日乾上人が開基した能勢妙見宮があり、日蓮宗の関西無双の霊場として名高い。また山の中腹には歴史民俗の資料を展示した能勢郷土館があるほか、キャンプ場林間学舎の設備もある。  
 交通の便もよく、バス、ケーブル、リフトを利用すると山上まで楽に登れる。

